

4. 都市防災不燃化促進事業

この事業は、防災上重要な避難地、避難路の周辺を「不燃化促進区域」に指定し、この区域内で耐火建築物を建築する者に対して建築費等の一部を助成することにより不燃化を促進し、大地震に伴い発生する火災から、区民の生命、身体の安全を確保することを目的としています。

豊島区では、昭和59年度から平成15年度までの20カ年に渡り「雑司が谷墓地周辺地区」で、昭和62年度から平成8年度までの10カ年に渡り「立教大学周辺地区」で事業を実施しました。

雑司が谷墓地周辺地区は、当該事業期間中に耐火率は35.8%(不燃領域率46.76%)まで高まり、事業開始時の耐火率11.1%(不燃領域率19.0%)から見ると、一定の成果をあげたと考えられます。また、立教大学周辺地区は、耐火率60.1%(不燃領域率68.27%)と、ほぼ計画目標値を達成しました。

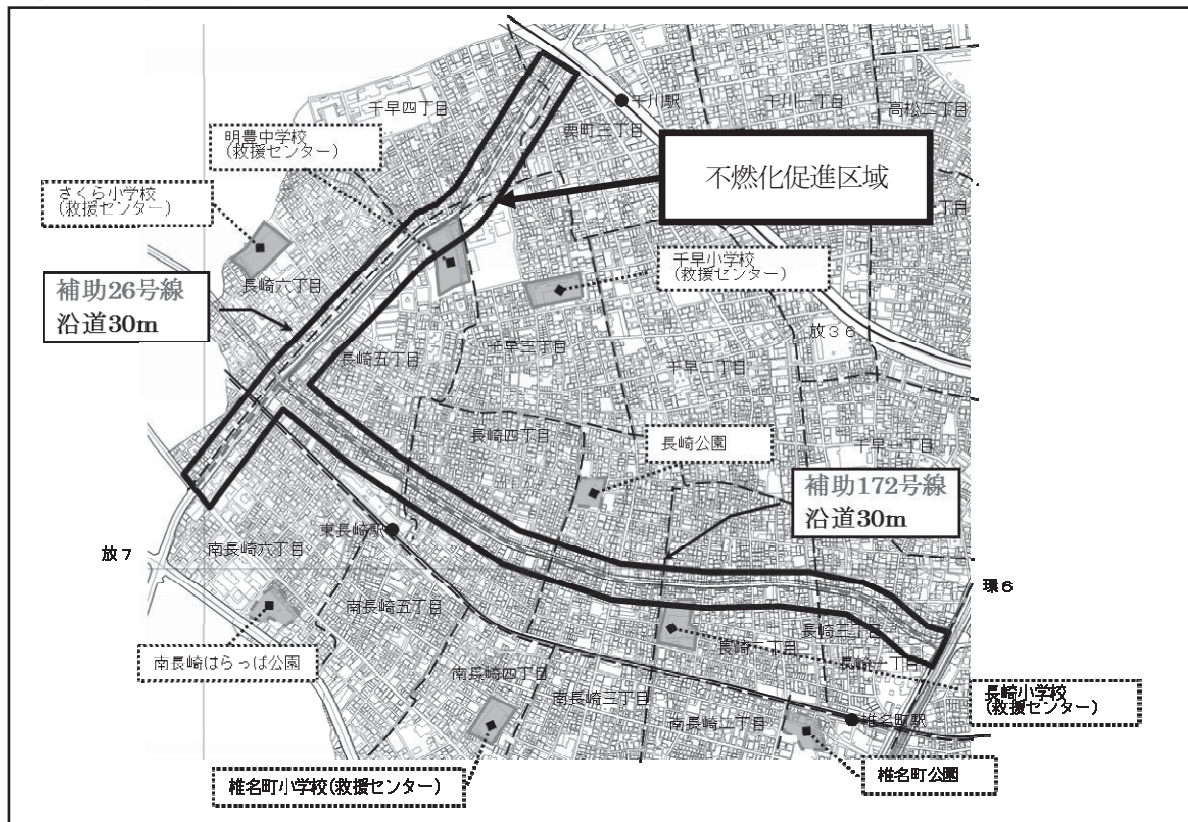
また、木密地域不燃化10年プロジェクトに基づく特定整備路線補助26・172・73・82・81号線の沿道30mの区域において事業を導入する予定で、平成26年度に各地区で不燃化調査を実施しました。

特定整備路線補助26号線沿道地区では特定防災街区整備地区の都市計画決定後の平成27年6月頃に、また、その他の地区では地区計画等の都市計画決定後の平成28年度以降に助成開始を予定しています。

(1) 補助26・172号線沿道地区

- ◆ 不燃化促進区域面積：22.1ha（補助26号線沿道：10.4ha、補助172号線沿道：11.7ha）

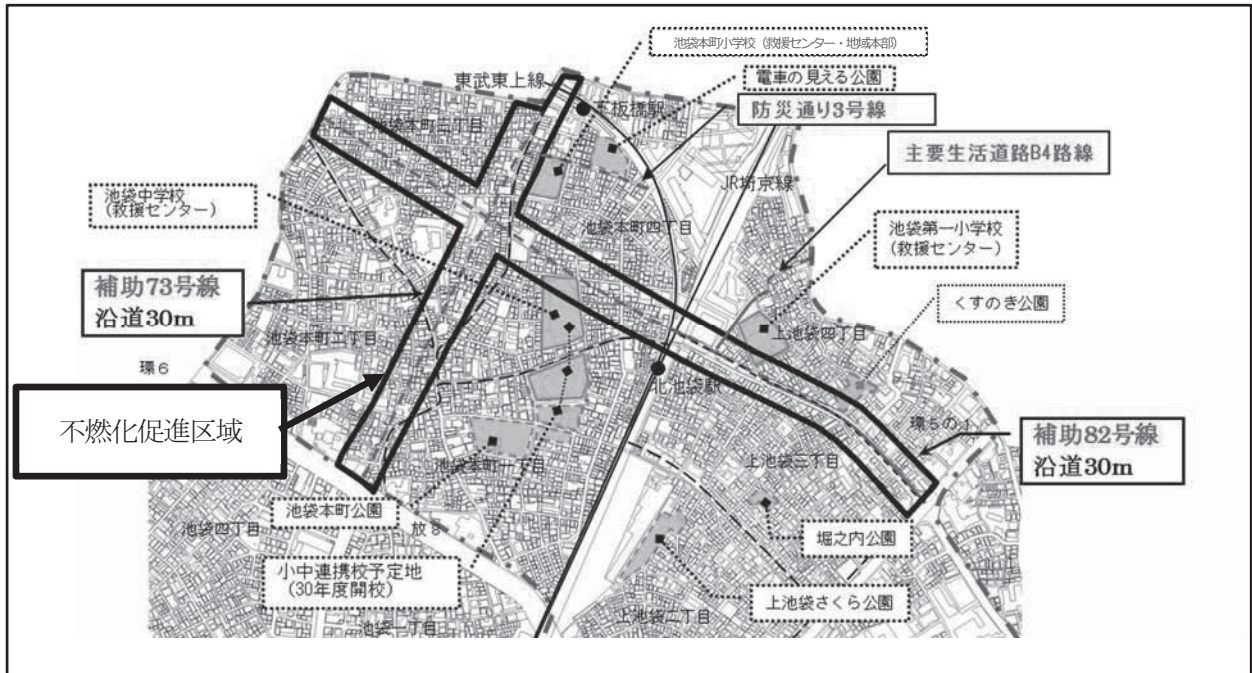
図表 2-3-22 事業計画概略図



(1) 補助 73・82 号線沿道地区

◆ 不燃化促進区域面積：16.6ha

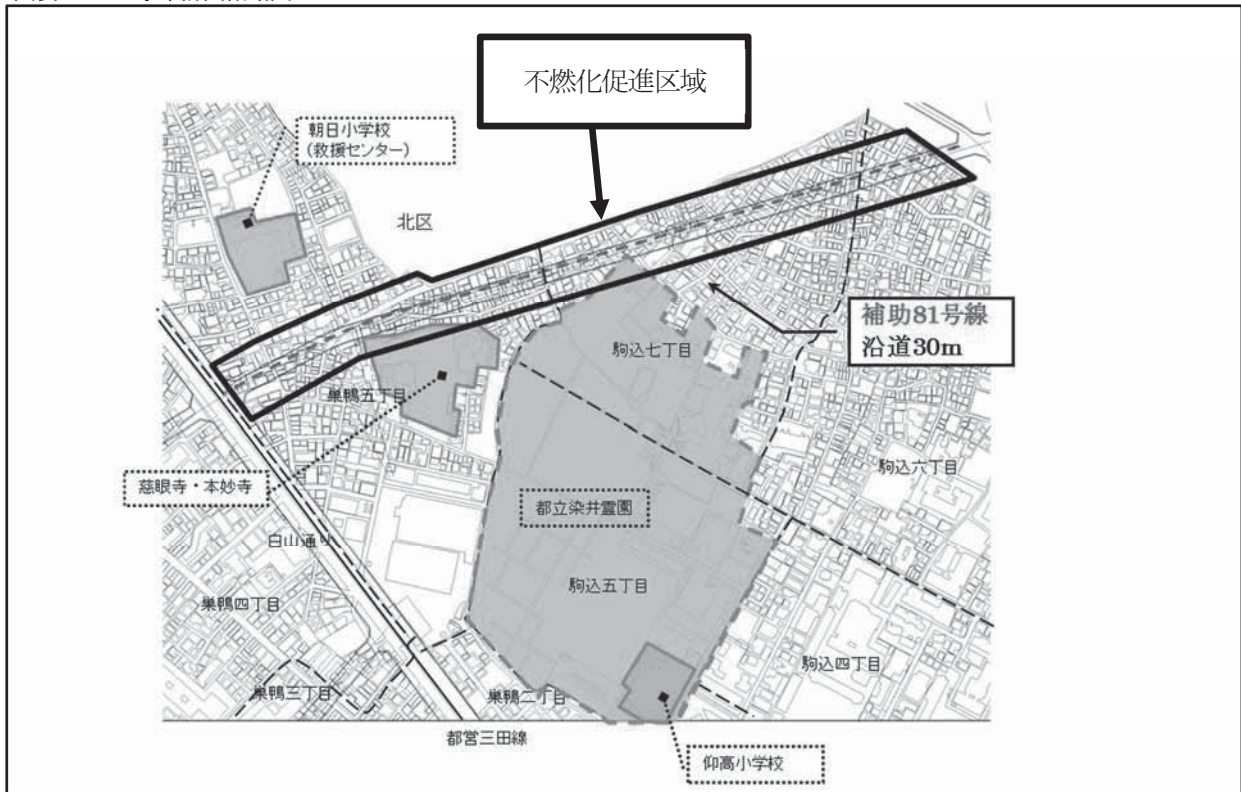
図表 2-3-23 事業計画概略図



(2) 補助 81 号線沿道地区

◆ 不燃化促進区域面積：6.7ha

図表 2-3-24 事業計画概略図



(1) 雑司が谷墓地周辺地区【平成15年度終了】

① 事業計画目標

ア. 不燃化促進区域面積：21.3ha

イ. 計画耐火率：70.0%

ウ. 有効面積：8.80ha

エ. 避難人口：88,000人

② 助成事業実績 計171棟

③ 地区の現況(平成16年3月終了時)

図表 2-3-26 雑司が谷墓地周辺地区の現況

		棟数	建築面積	耐火率
建築敷地	耐火建築物	267棟	27,329 m ²	35.8%
	非耐火建築物	922棟	48,940 m ²	
合計		1,189棟	76,269 m ²	

図表 2-3-25 事業対象区域図(雑司が谷墓地周辺地区)



(2) 立教大学周辺地区【平成8年度終了】

① 事業計画目標

ア. 不燃化促進区域面積：28.26ha

イ. 計画耐火率：70.0%

ウ. 有効面積：6.60ha

エ. 避難人口：64,000人

② 助成事業実績 計120棟

③ 地区の現況(平成9年3月終了時)

図表 2-3-27 立教大学周辺地区の現況

		棟数	建築面積	耐火率
建築敷地	耐火建築物	449棟	65,114 m ²	60.1%
	非耐火建築物	770棟	43,240 m ²	
合計		1,219棟	108,354 m ²	

図表 2-3-28 事業対象区域図(立教大学周辺地区)

